

消防署 富来田分署 消防だより

Vol・5 発行日：令和4年8月 発行者：消防署富来田分署

e-mail: sho-fukuta@city.kisarazu.lg.jp

担当：鈴木・長野・栗原 TEL 0438-53-2160

屋外焼却行為(野焼き等)は禁止されています！！

消防署富来田分署管内で発生する火災のうち、最も多いのが屋外焼却行為(野焼き等)による燃焼拡大です。また、野焼き等の消し忘れにより、発見者が火災と誤認し通報する例が数多く見られます。屋外焼却行為は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により一部の例外を除いて禁止されています。

焼却行為を行う場合には、消防署本署または消防署富来田分署にて「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書」を受け付けています。これは焼却行為を許可するものではなく、消防署が実施状況を把握するために提出をしていただくものです。なお届出書を提出していただいた場合でも、気象状況や通報により消防車で現地へ確認に行き消火をしていただく場合があります。また届出書は木更津市のホームページから記入例と一緒に印刷することができます。

火を使用する際の注意点

- ・ 消火するまで火の元を離れない
- ・ すぐに消火出来るよう消火器具を必ず用意する
- ・ 周囲の状況に配慮し、風向きや時間を考慮する
- ・ 日出から日没の時間で行う



熱中症にご注意を！！



気温が上昇し熱中症になりやすい季節になりました。木更津市では昨年の7月、8月で23人の方が熱中症(疑いも含む)で救急搬送されています。また、今年の6月1日から30日までの間に、既に14人の方が熱中症で救急搬送されています。今年は6月下旬から真夏日が続いているため、普段の生活から、こまめな水分補給や涼しい部屋で過ごすなど熱中症にならない工夫をお願いします。

1. めまいや顔のほてり
2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかきかたがおかしい
5. 体温が高い、皮膚の異常
6. 呼びかけに反応しない、真っ直ぐに歩けない
7. 水分補給が出来ない

上記のような症状や違和感を感じたら

- ・ 涼しい場所へ移動しましょう
- ・ 衣類を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう
- ・ 塩分や水分を補給しましょう
- ・ すぐに医療機関へ相談、または救急車を呼びましょう



消防車両紹介

化学消防自動車



化学小隊が乗車する化学車には水、泡消火剤およびそれらを使って消火活動するのに必要な資機材が積載され、車両上部には放水銃を装備し、水では消火不能や困難な油火災に対し水と薬液を混合させた混合液を放水し対応します。化学小隊はそうした特殊な状況での火災に対応する部隊で、石油コンビナート火災、車両火災、航空機事故等ガソリンなどの危険物火災の最前線で活動します。

また、活動場所は通常の火災現場よりも高温になりやすいため、隊員も高温にも耐えられる耐熱服を着装し活動します。

暑熱順化

暑熱順化とは、体が熱さに慣れることです。暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて、暑さに強くなります。

気温が上がり、熱中症の危険性が高まる前に、無理のない程度に汗をかくことが大切ですが、数日暑さから遠ざかると効果が薄れてしまうと言われているので、毎日適度に汗をかく運動や入浴を心掛け、汗をかいた後は、必ず水分と適度な塩分を摂りましょう。



～消防団員募集～

市民の安心・安全を確保するためには、地域の皆さんの力が必要です。地域の安心・安全の守り手として、木更津市に在住、在勤または在学する18歳以上で、健康な方の入団を心よりお待ちしております。入団希望・ご相談は消防本部警防課（0438-23-9184）まで。

集中豪雨や台風への備えは



できていますか？

集中豪雨は、大気の状態が不安定になり、積乱雲が発達して局地的な激しい雨を降らせる現象を言います。近年では、降雨量が多く低い場所ではあっという間に冠水してしまいます。また、近年の台風では、甚大な被害も発生していますので注意が必要です。



事前対策として

- ※土嚢の準備
- ※風で飛ばされるような物は室内に収納し、物置やカーポート等はできる限り固定する。
- ※窓は鍵をかけてカーテンを閉め、網戸も外れないか確認しておく。
- ※ハザードマップを活用して、洪水や土砂災害の危険性がある場所を確認し、避難場所を決めておく。
- ※停電や断水に備え、照明器具や飲料水、食料品を確保し、衣類等を入れた避難用バッグを準備しておく。
- ※防災行政無線や安心安全メールの情報に注意し、早めの避難を心掛けましょう。

